



CHAPTER 1

Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするための必須タスクの概要

この章は、2つのタスク リストで構成されています。Cisco Unity Connection クラスタを設定するかどうかに応じて、次の該当するタスク リストを使用します。

- 「Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし)」 (P.1-1)
- 「Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト」 (P.1-12)



(注)

スタンドアロン設定の Connection 9.x をインストールすると、同じシステムに ELM サーバがインストールされます。同様に、共存設定では、ELM サーバが Connection 9.x および CallManger とともに同じシステムにインストールされます。ELM サーバのユーザ名とパスワードは、Cisco Unity Connection Administration のユーザ名とパスワードと同じです。ELM サーバの詳細については、『ELM User Guide』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/elmuserguide/9_0_1/CUCM_BK_E596FD7_2_00_enterprise-license-manager-user-90.html) を参照してください。

Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし)



(注)

Connection クラスタを設定する場合は、「Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト」 (P.1-12) を参照してください。

Connection クラスタを使用せずに Cisco Unity Connection 9.x システムを正しくインストールするには、ここで挙げる概略的なタスクのリストを使用します。これらの各タスクは、『Cisco Unity Connection インストレーション ガイド』およびその他の Cisco Unity Connection マニュアルの詳細な手順を参照しています。インストールを正常に完了するには、マニュアルに従ってください。



(注)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition 6000 をインストールする過程で Connection 9.x をインストールすると、Connection 9.x のドキュメント セットの内容が、以下を除いてすべて Business Edition 6000 に適用されます。

- Connection バージョン 9.x のみを参照している内容。
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition のみを参照している内容 (この内容は、Business Edition バージョン 9.x および Business Edition 5000 バージョン 9.x のみに適用されません)。

タスク リストに従うと、Connection サーバのインストールと設定から、ユーザおよび通話管理データの Connection システムへの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスなどのオプション機能の設定、Connection データのバックアップまで、Cisco Unity Connection システムのインストールを完了できます。

リストは次の 9 部に分かれています。

- 「第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定」 (P.1-2)
- 「第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定」 (P.1-5)
- 「第 3 部 : 電話システムとの連動の設定」 (P.1-5)
- 「第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力」 (P.1-5)
- 「第 5 部 : 機能用のシステムの設定」 (P.1-8)
- 「第 6 部 : ネットワーキングの設定」 (P.1-9)
- 「第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定」 (P.1-10)
- 「第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ」 (P.1-10)
- 「第 9 部 : トレーニング」 (P.1-11)

ネットワーキングを使用して複数の Connection サーバに接続している場合は、最初に第 1 部および第 3 部～第 5 部のタスクをすべてのサーバに実行し、第 6 部以降に進みます (第 2 部のタスクは 1 回のみ実行する必要があります)。

タスクの中には、特定の状況にのみ該当するものがあります。その場合には、その具体的な状況を示します。タスクがお客様の状況に該当しない場合は、スキップしてください。

第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定

1. 次の要件を確認します。
 - a. Cisco Unity Connection 9.x システムのシステム要件。『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) を参照してください。



注意

選択したサーバや選択した Connection 9.x の設定によっては、メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要になる場合があります。ご使用のサーバにメモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html) で該当するサーバの表を参照してください。

- b. 電話システムとの連動の要件。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で、該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドの「Requirements」の項を参照してください。

2. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合: インストールする追加の Connection 言語ファイルをダウンロードします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード」の項を参照してください。(このタスク リストでは、インストールの後半で言語ファイルをインストールするタイミングが通知されます)。
3. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: 『Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List』にある仮想化の仕様に関する表で、ポートの最大数やユーザの最大数に基づいて Connection サーバに展開する VMWare 構成を決定します。次に、その構成に対応する VMWare OVA テンプレートを書き留めます。この資料は、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html から入手可能です。
4. 仮想マシンに Connection をインストールする場合 (オプション): タスク 3. で確認した VMWare OVA テンプレートをダウンロードします。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で、該当する『Release Notes for Cisco Unity Connection』の「Installing Cisco Unity Connection for the First Time on a Virtual Machine」の項を参照してください。
仮想化を手動で設定することもできます。その場合は、OVA テンプレートは必要ありません。



(注) VMware OVA テンプレートのダウンロードに関する情報は、バージョン 9.x の『Release Notes for Cisco Unity Connection』に記載されています。

5. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: 『System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、Connection 仮想マシンのインストール先とする物理ホストをプロビジョニングします。
6. 仮想マシンに Connection をインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードした場合: そのテンプレートを導入し、仮想マシンを作成して設定します。
仮想マシンに Connection をインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードしていない場合: Connection サーバに仮想マシンを作成し、その仮想マシンのハードウェアの各種プロパティを、『System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するように設定します。
7. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合: メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」の項を参照してください。
8. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: VMware vSphere Client で independent-persistent モードの Connection 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これによって、最高のストレージパフォーマンスが提供されます。
9. 仮想マシンに Connection をインストールする場合: VM コンソールを使用して ISO ファイルをマウントする場合、インストール プロセスの終了時にディスクがイジェクトされないことに注意してください。



ヒント

DVD ISO ファイルは必ず VMware の [設定の編集 (Edit Settings)] メニューからマウントしてください。

10. 仮想マシンに *Connection* をインストールする場合：仮想マシンの BIOS 設定で、仮想マシンの起動順序を、1 番目が DVD 仮想ディスク、2 番目が仮想ハードディスクになるように変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
11. Cisco Unity Connection サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「バージョン 9.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
12. 英語（米国）以外の言語を使用している場合：追加の Connection 言語ファイルをインストールします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 9.x の言語ファイルのインストール」の項を参照してください。
13. *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズするために日本語をインストールしている場合：Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールをダウンロードおよびインストールします。該当する『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』（http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html）の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。



(注)

Connection に日本語をインストールする場合は、デフォルトの日本語 cop ファイルである uc-locale-ja_JP-9.1.0.1-xx.cop.sgn をインストールします。ただし、Connection SRSV に日本語をインストールする場合は、必ず SRSV 固有の日本語 cop ファイルである uc-locale-SRSV-ja_JP-9.1.0.1-xx.cop.sgn をインストールします。

14. *Cisco Unity Connection Survivable Remote Site Voicemail (SRSV)* サーバをインストールする場合：CLI コマンド **utils cuc activate CUSRSV** を実行して、スタンドアロンの Connection サーバを Connection SRSV サーバに変換します。



(注) 無制限版の Connection SRSV は、無制限版の Cisco Unity Connection（中央）サーバでのみ機能します。



注意

上記の CLI コマンドを実行すると、手動でデータベースに追加したエント리는すべて失われます。



警告

Connection SRSV をインストールした後で Connection に戻すことはできません。

15. *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズするために追加の言語をインストールしている場合：対応する Cisco Unified Communications Manager ロケールをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』（http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html）の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定

16. 管理者のワークステーションのブラウザを Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスできるように設定します。『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html) の「[Configuring the Browser on an Administrator Workstation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
17. 管理者のワークステーションに Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html) の「[Installing and Configuring Real-Time Monitoring Tool](#)」の章を参照してください。

第 3 部 : 電話システムとの連動の設定

18. Cisco Unity Connection と電話システムとの連動を設定します。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
19. Cisco Unity Connection に付属のすべてのソフトウェアを、安全で容易にアクセスできる場所に保管します。

第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力

第 4 部のタスクの多くは、Cisco Unity Connection Administration を使用して行います (Connection の管理 へのサイン インと使用方法の詳細については、『*System Administration Guide*』の「[Accessing and Using Cisco Unity Connection Administration in 9.x](#)」の章を参照してください)。

第 4 部のタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
 - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)
20. Connection ライセンスを入手してインストールします。『*System Administration Guide*』の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
 21. 次の Cisco Unity Connection の概念を十分に理解してください。
 - a. 通話管理。『*System Administration Guide*』の「[Call Management Overview in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. Connection カンパセーションと Custom Keypad Mapping ツール (使用する予定がある場合)。『*System Administration Guide*』の「[Cisco Unity Connection 9.x Conversation](#)」および「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. ユーザアカウントと管理者アカウント、テンプレート、サービスクラス、およびロール。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Introduction to Cisco Unity Connection 9.x Users and Contacts](#)」および「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

22. システム計画を策定します。
- a. 営業時間、営業時間外、および休日を確認します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. 通話管理計画を策定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. デフォルトのパーティションとサーチ スペースを確認し、新しいパーティションとサーチ スペースが必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. デフォルトの規制テーブルを確認し、テーブルの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Overview: Default Restriction Tables](#)」を参照してください。
 - e. 電話と Web ツール アクセスのパスワード ポリシーとアカウント ロックアウト ポリシー、および Web ツール アクセスのサイン イン ポリシーを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - f. 必要な管理者アカウントの数と種類、およびアカウントに割り当てるロールを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - g. ユーザに対して有効にする機能と、テンプレートやサービス クラスの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - h. デフォルトのメールボックス サイズのクォータを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - i. デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - j. デフォルトのシステム同報リストを確認し、同報リストの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
23. *Custom Keypad Mapping* ツールを使用している場合: カスタム キーパッド マッピング カンパセーションに関連付けられているキー マッピングを適宜編集します。『*System Administration Guide*』の「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
24. タスク 22. で確認した次のデフォルトについて、適宜変更または新規作成を行います。
- a. スケジュール。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. パーティションおよびサーチ スペース。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. 規制テーブル。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. パスワード、ロックアウト、およびサインインの各ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - e. サービス クラス。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

- f. ユーザ テンプレート。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - g. メールボックス サイズの割り当て。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - h. メッセージ エージング ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - i. システム同報リスト。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
25. システム設定をテストします。
- a. テスト アカウントとして使用する Connection ユーザ アカウントを追加します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」の章を参照してください。
 - b. 電話機を使用して Connection にテスト ユーザとしてサイン インし、名前を録音して電話パスワードを設定します。切断します。
 - c. Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパセーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
 - d. Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にテスト ユーザとしてサイン インします。テスト ユーザに必要な COS 権限を付与した場合は、Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
 - e. 必要に応じてシステム設定を修正します。
26. Connection ユーザ データを LDAP ディレクトリ内のユーザ データと同期する場合は、Connection に LDAP ディレクトリとの連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 9.x with an LDAP Directory](#)」の章を参照してください。
27. 管理者アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
28. ユーザ アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』で、以下の該当の章を参照してください。
- 「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」
 - 「[Managing User Accounts in Bulk in Cisco Unity Connection 9.x](#)」
 - 「[Creating Multiple Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from Cisco Unified Communications Manager Users](#)」
 - 「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」
29. 必要に応じて、システム同報リストに個々のユーザを追加します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Managing System Distribution List Members](#)」を参照してください。
30. タスク 22.b. で策定した通話管理計画を実装し、テストします。
- a. コール ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. ディレクトリ ハンドラの設定を行います。『*System Administration Guide*』の「[Managing Directory Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

- c. インタビュー ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Interview Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
- d. コール ルーティングを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Routing Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 5 部：機能用のシステムの設定

第 5 部のほとんどのタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
 - 『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection Release 8.5 and Later*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/unified_messaging/guide/9xcucumgx.html)
 - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)
31. ユーザが IMAP 電子メール クライアントを使用して、*Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合：IMAP クライアントから *Connection* サーバへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 32. ユーザが *Connection Web* ツールにアクセスできるか、または IMAP 電子メール クライアントを使用して *Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合：タスク 31. の一部として設定済みでない場合は、*Connection* への Cisco PCA および IMAP アクセスのセキュリティを確保します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring SSL in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Securing Cisco PCA and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection](#)」の項を参照してください。
 33. ユニファイドメッセージング機能用にユーザを設定する場合：ユニファイドメッセージングを設定します。『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection*』の該当する章を参照してください。ユニファイドメッセージング機能には以下があります。
 - テキスト/スピーチ (TTS) を使用した Exchange の電子メールへのアクセス
 - Exchange の予定表および連絡先へのアクセス
 - *Connection* メールボックスと Exchange メールボックスの同期 (単一のインボックス)
 - MeetingPlace 会議のアナウンス
 - MeetingPlace スケジュール設定および参加設定

SpeechView ユニファイドメッセージングのもう 1 つのコンポーネントである SpeechView トランスクリプションについては、後出のタスクで説明します。
 34. ユーザが予定表情報または Exchange 連絡先にアクセスできる場合：連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating Calendar Integrations in Cisco Unity Connection 9.0.x](#)」の章を参照してください。
 35. テキスト/スピーチを使用して Exchange の電子メール メッセージにアクセスする場合：Exchange へのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Text-to-Speech Access to Exchange Emails in Cisco Unity Connection 9.0](#)」の章を参照してください。
 36. ユーザが SpeechView ボイス メッセージ トランスクリプション機能にアクセスできる場合：トランスクリプション サービスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Transcription \(SpeechView\) in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

37. ユーザが *HTML*、*SMTP*、または *SMS* メッセージ通知デバイスを使用する場合：システムが *SMTP* または *SMS* 通知メッセージを送信できるようにします。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up HTML, SMTP, and SMS \(SMPP\) Message Notifications in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
38. ユーザが *Cisco Unified* クライアント アプリケーションを使用して *Connection* ボイス メッセージにアクセスできる場合：次の該当するクライアントを設定します。
 - *Cisco Unified Personal Communicator* の場合は、『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Access to Voice Messages from the Cisco Unified Personal Communicator](#)」の項を参照してください。
 - *Cisco Unified Mobile Communicator* の場合は、『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Unified Mobility Advantage Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - *Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime* の場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html) を参照してください。
39. ユーザがファクスにアクセスできる場合：Cisco Fax Server との連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Fax Server Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
40. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Connection Broadcast Message Administrator* にアクセスできる場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Broadcast Messaging in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
41. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Greetings Administrator* にアクセスして、電話によるグリーティングを管理する必要がある場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Setting Up the Cisco Unity Greetings Administrator](#)」の項を参照してください。
42. まだ提供していない追加の機能がある場合は、必要に応じて個々のユーザ アカウントの設定をカスタマイズします。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 6 部：ネットワーキングの設定

43. ネットワーキングを適宜設定します。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「[Overview of Networking Concepts in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定

第 7 部のほとんどのタスクは、注記がある場合を除き、『*User Workstation Setup Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_setup/guide/9xcucuwsx.html) の各章を参照しています。

44. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「[Setting Up Access to the Cisco Personal Communications Assistant in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
45. Media Master の再生デバイスと録音デバイスを設定します。「[Setting Up Playback and Recording Devices for the Media Master in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
46. ViewMail for Outlook を設定します。該当するマニュアルを参照してください。
 - Cisco ViewMail for Microsoft Outlook 8.5 以降の場合は、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html にある、該当する『*Release Notes for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』を参照してください。
 - Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook 8.0 の場合は、『*User Workstation Setup Guide*』の「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 9.x Voice Messages](#)」の章の「[Setting Up ViewMail for Outlook in Cisco Unity Connection 9.x](#)」を参照してください。
47. Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes を設定します。http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes*』を参照してください。
48. HTML ベースの電子メール通知でイメージを表示するよう電子メールクライアントを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for HTML-based Message Notification](#)」を参照してください。
49. Cisco Unity Connection Mini Web Inbox へのアクセスを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox](#)」を参照してください。
50. Connection ボイス メッセージにアクセスするために IMAP 電子メール アカウントを設定します。「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 9.x Voice Messages](#)」の章を参照してください。
51. ユーザが使用可能になっている Connection 機能にアクセスできるとともに使用できることを確認します。

第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ

52. 『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/drs_administration/guide/9xcudrsag.html) を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップ アプリケーションはサポートされていません。

第 9 部 : トレーニング

53. Cisco Unity Connection システムを使用できるように、ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者をトレーニングします。『*User Workstation User Setup Guide*』の「[User Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Operator and Support Desk Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト



(注) Connection クラスタを設定しない場合は、「[Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト \(Connection クラスタなし\)](#)」(P.1-1) を参照してください。

Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムを正しくインストールするには、この項の概略的なタスクのリストを使用します。各タスクは、『*Cisco Unity Connection インストールガイド*』およびその他の Cisco Unity Connection のマニュアルの詳細な手順を参照しています。インストールを正常に完了するには、マニュアルに従ってください。



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition 6000 をインストールする過程で Connection 9.x 以降をインストールすると、Connection 8.x のドキュメントセットの内容が、以下を除いてすべて Business Edition 6000 に適用されます。

- Connection バージョン 9.x のみを参照している内容。
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition のみを参照している内容（この内容は、Business Edition バージョン 9.x および Business Edition 5000 バージョン 9.x のみに適用されません）。

タスク リストに従うと、Connection サーバのインストールと設定から、ユーザおよび通話管理データの Connection システムへの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスなどのオプション機能の設定、Connection データのバックアップまで、Cisco Unity Connection システムのインストールを完了できます。パブリッシャ サーバに入力した情報や設定は、サブスクリバ サーバにレプリケートされます。



(注) Cisco Unity Connection SRSV をクラスタにインストールすることはできないので、ブランチは、クラスタを持たない Connection にのみ作成できます。

リストは次の 10 部に分かれています。

- 「第 1 部：Connection パブリッシャ サーバのインストールと設定」(P.1-13)
- 「第 2 部：管理者のワークステーションの設定」(P.1-15)
- 「第 3 部：クラスタの設定、および Connection サブスクリバ サーバのインストールと設定」(P.1-15)
- 「第 4 部：電話システムとの連動の設定」(P.1-16)
- 「第 5 部：ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力」(P.1-16)
- 「第 6 部：機能用のシステムの設定」(P.1-20)
- 「第 7 部：ネットワーキングの設定」(P.1-21)
- 「第 8 部：ユーザ ワークステーションの設定」(P.1-22)
- 「第 9 部：Cisco Unity Connection データのバックアップ」(P.1-22)
- 「第 10 部：トレーニング」(P.1-23)

ネットワーキングを使用してネットワークへの複数の Connection クラスタに接続している場合は、最初にクラスタを設定して、次にネットワークを設定します。最初のクラスタには、第 1 部～第 6 部のタスクを実行します。2 つめ以降のクラスタには、第 1 部と第 3 部～第 6 部のタスクを実行します。リストの第 7 部以降に進みます。

タスクの中には、特定の状況にのみ該当するものがあります。その場合には、その具体的な状況を示します。タスクがお客様の状況に該当しない場合は、スキップしてください。

第 1 部 : Connection パブリッシャ サーバのインストールと設定

1. 次の要件を確認します。
 - a. Cisco Unity Connection 9.x システムのシステム要件。『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreq.s.html) を参照してください。



注意

選択したサーバや選択した Connection 9.x の設定によっては、メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要になる場合があります。ご使用のサーバにメモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html) で該当するサーバの表を参照してください。

- b. 電話システムとの連動の要件。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で、該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドの「Requirements」の項を参照してください。
2. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合: インストールする追加の Connection 言語ファイルをダウンロードします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 9.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 9.x の言語ファイルのダウンロード」の項を参照してください。(このタスク リストでは、インストールの後半で言語ファイルをインストールするタイミングが通知されます)。
3. 仮想マシンに Connection パブリッシャ サーバまたはサブスクリバサーバをインストールする場合: 『*Cisco Unity Connection 9.x Supported Platforms List*』の仮想化の仕様の表を使用し、ポートの最大数やユーザの最大人数に基づいて、仮想マシンに展開する VMware 設定を決定します。次に、その構成に対応する VMware OVA テンプレートを書き留めます。この資料は、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/supported_platforms/9xcucspl.html から入手可能です。



注意

パブリッシャ サーバとサブスクリバサーバの両方を仮想マシンにインストールする場合、両方のサーバに同じ VMware 設定を使用する必要があります。

4. 仮想マシンに Connection パブリッシャ サーバまたはサブスクリバサーバをインストールする場合 (オプション): タスク 3. で決定した VMware OVA テンプレートをダウンロードします。該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html) の「Installing Cisco Unity Connection for the First Time on a Virtual Machine」の項を参照してください。仮想化を手動で設定することもできます。その場合は、OVA テンプレートは必要ありません。



(注) VMware OVA テンプレートのダウンロードに関する情報は、バージョン 9.x の『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』に記載されています。

5. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合:『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、*Connection* パブリッシャ仮想マシンのインストール先とする物理ホストをプロビジョニングします。
6. *Connection* 仮想マシンにパブリッシャ サーバをインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードした場合: そのテンプレートを導入し、仮想マシンを作成して設定します。
仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードしていない場合: *Connection* パブリッシャ サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
7. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合: メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 9.x* のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」の項を参照してください。
8. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合: *VMware vSphere Client* で independent-persistent モードの *Connection* 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これによって、最高のストレージパフォーマンスが提供されます。
9. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合: 仮想マシンの BIOS 設定で、仮想マシンの起動順序を、1 番目が DVD 仮想ディスク、2 番目が仮想ハードディスクになるように変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 9.x* のインストール」の章の「*Cisco Unity Connection 9.x* 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
10. *Connection* パブリッシャ サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 9.x* のインストール」の章の「バージョン 9.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
11. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合: 追加の *Connection* 言語ファイルをパブリッシャ サーバにインストールします。このマニュアルの「*Cisco Unity Connection 9.x* サーバへの追加言語のインストール」の章の「*Connection 9.x* の言語ファイルのインストール」の項を参照してください。
12. 日本語をインストールして *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズする場合: *Cisco Unified Communications Manager* の日本語ロケールをパブリッシャ サーバにダウンロードし、インストールします。該当する『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。
13. 追加の言語をインストールして *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズする場合: 対応する *Cisco Unified Communications Manager* ロケールをパブリッシャ サーバにダウンロードし、インストールします。『*Cisco Unified Communications Operating System*

Administration Guide』

(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」を参照してください。

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定

14. 管理者のワークステーションのブラウザを Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスできるように設定します。『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html) の「Configuring the Browser on an Administrator Workstation in Cisco Unity Connection 9.x」の章を参照してください。
15. 管理者のワークステーションに Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』(http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html) の「Installing and Configuring Real-Time Monitoring Tool」の章を参照してください。

第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクライバ サーバのインストールと設定

16. Cisco Unity Connection クラスタを設定します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcucagx.html) の「Configuring a Cisco Unity Connection 9.x Cluster」の章を参照してください。
17. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールする場合 : 『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、Connection サブスクライバ仮想マシンのインストール先とする物理ホストをプロビジョニングします。
18. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードした場合 : そのテンプレートを導入し、仮想マシンを作成して設定します。
仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードしていない場合 : サブスクライバ サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 9.x*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/requirements/9xcucsysreqs.html) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
19. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合 : メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 9.x サーバのみ)」の項を参照してください。
20. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールする場合 : VMware vSphere Client で independent-persistent モードの Connection 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これによって、最高のストレージパフォーマンスが提供されます。

21. 仮想マシンに *Connection* サブスクライバ サーバをインストールする場合：仮想マシンの BIOS 設定で、仮想マシンの起動順序を、1 番目が DVD 仮想ディスク、2 番目が仮想ハードディスクになるように変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「Cisco Unity Connection 9.x 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
22. *Connection* サブスクライバ サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 9.x のインストール」の章の「バージョン 9.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
23. 英語（米国）以外の言語を使用している場合：サブスクライバ サーバに、タスク 11. でインストールしたものと同一 *Connection* 言語ファイルをインストールします。
24. 日本語をインストールして *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズする場合：サブスクライバ サーバにタスク 12. でインストールした Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールをインストールします。
25. 追加の言語をインストールして *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズする場合：サブスクライバ サーバにタスク 13. でインストールしたものと同一 Cisco Unified Communications Manager のロケールをインストールします。



(注) これ以降、パブリッシャ サーバに入力した情報や設定は、サブスクライバ サーバにレプリケートされます。

第 4 部：電話システムとの連動の設定

26. パブリッシャ サーバに、Cisco Unity Connection と電話システムとの連動を設定します。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
27. Cisco Unity Connection に付属のすべてのソフトウェアを、安全で容易にアクセスできる場所に保管します。

第 5 部：ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力

第 5 部のタスクの多くは、Cisco Unity Connection Administration を使用して行います（Connection の管理 へのサイン インと使用方法の詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Accessing and Using Cisco Unity Connection Administration in 9.x](#)」の章を参照してください）。

第 5 部のタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
- 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)
- 『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/cluster_administration/guide/9xcuccagx.html)

28. Connection ライセンスを入手してインストールします。ライセンスは、パブリッシャ サーバとサブスクライバ サーバにインストールする必要があります。『*System Administration Guide*』の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
29. 次の Cisco Unity Connection の概念を十分に理解してください。
 - a. 通話管理。『*System Administration Guide*』の「[Call Management Overview in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. Connection カンバセーションと Custom Keypad Mapping ツール（使用する予定がある場合）。『*System Administration Guide*』の「[Cisco Unity Connection 9.x Conversation](#)」および「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. ユーザアカウントと管理者アカウント、テンプレート、サービス クラス、およびロール。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Introduction to Cisco Unity Connection 9.x Users and Contacts](#)」および「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 9.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
30. システム計画を策定します。
 - a. 営業時間、営業時間外、および休日を確認します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. 通話管理計画を策定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. デフォルトのパーティションとサーチ スペースを確認し、新しいパーティションとサーチ スペースが必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. デフォルトの規制テーブルを確認し、テーブルの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Overview: Default Restriction Tables](#)」を参照してください。
 - e. 電話と Web ツール アクセスのパスワードポリシーとアカウント ロックアウト ポリシー、および Web ツール アクセスのサイン イン ポリシーを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - f. 必要な管理者アカウントの数と種類、およびアカウントに割り当てるロールを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 9.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
 - g. ユーザに対して有効にする機能と、テンプレートやサービス クラスの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 9.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
 - h. デフォルトのメールボックス サイズのクォータを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - i. デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - j. デフォルトのシステム同報リストを確認し、同報リストの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

31. Custom Keypad Mapping ツールを使用している場合：パブリッシャ サーバで、カスタム キーパッド マッピング カンバセーションに関連付けられているキー マッピングを適宜編集します。
『[System Administration Guide](#)』の「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
32. タスク 30. で確認した次のデフォルトについて、パブリッシャ サーバで適宜変更または新規作成を行います。
- a. スケジュール。『[System Administration Guide](#)』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - b. パーティションおよびサーチ スペース。『[System Administration Guide](#)』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - c. 規制テーブル。『[System Administration Guide](#)』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - d. パスワード、ロックアウト、およびサインインの各ポリシー。『[System Administration Guide](#)』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - e. サービス クラス。『[User Moves, Adds, and Changes Guide](#)』の「[Adding, Modifying, or Deleting a Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - f. ユーザ テンプレート。『[User Moves, Adds, and Changes Guide](#)』の「[Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - g. メールボックス サイズの割り当て。『[System Administration Guide](#)』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」を参照してください。
 - h. メッセージ エージング ポリシー。『[System Administration Guide](#)』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」を参照してください。
 - i. システム同報リスト。『[System Administration Guide](#)』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
33. システム設定をテストします。
- a. パブリッシャ サーバで [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスし、パブリッシャ サーバが [プライマリ (Primary)] ステータス、サブスクライバ サーバが [セカンダリ (Secondary)] ステータスであることを確認します。『[Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection](#)』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章を参照してください。
 - b. パブリッシャ サーバで、テスト アカウントとして使用する Connection ユーザ アカウントを追加します。『[User Moves, Adds, and Changes Guide](#)』の「[Adding Cisco Unity Connection Accounts Individually](#)」の章を参照してください。
 - c. 電話機を使用して Connection にテスト ユーザとしてサインインし、名前を録音して電話パスワードを設定します。切断します。
 - d. Connection に電話してテスト ユーザとして再度サインインし、パスワード、グリーンティング、およびユーザに指定されたカンバセーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
 - e. Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にテスト ユーザとしてサインインします。テスト ユーザに必要な COS 権限を付与した場合は、Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
 - f. 必要に応じてシステム設定を修正します。

- g. サブスクリバ サーバで、テスト ユーザと録音された名前がレプリケートされていることを確認します。
 - h. [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスし、サブスクリバ サーバのステータスを [プライマリ (Primary)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
 - i. パブリッシャ サーバのステータス (現在 [セカンダリ (Secondary)] ステータスに設定されている) を [無効化 (Deactivated)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
 - j. Cisco Unity Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、サブスクリバ サーバが [プライマリ (Primary)] ステータスの際に通話が正しく接続されることを確認します。パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパシーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
 - k. Cisco PCA にテスト ユーザとしてサイン インします。Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
 - l. 必要に応じてシステム設定を修正します。
 - m. [クラスタ管理 (Cluster Management)] ページの Cisco Unity Connection Serviceability で、パブリッシャ サーバをアクティブにします。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
 - n. パブリッシャ サーバのステータスを [プライマリ (Primary)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 9.x Cluster](#)」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
34. Connection ユーザ データを LDAP ディレクトリ内のユーザ データと同期する場合は、パブリッシャ サーバで Connection に LDAP ディレクトリとの連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 9.x with an LDAP Directory](#)」の章を参照してください。
35. パブリッシャ サーバで管理者アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
36. パブリッシャ サーバでユーザ アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』で、以下の該当の章を参照してください。
- 「[Adding Cisco Unity Connection 9.x Accounts Individually](#)」
 - 「[Managing Cisco Unity Connection 9.x User Accounts in Bulk](#)」
 - 「[Creating Multiple Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from Cisco Unified Communications Manager Users](#)」
 - 「[Creating Cisco Unity Connection 9.x User Accounts from LDAP User Data](#)」
37. パブリッシャ サーバで、必要に応じて個々のユーザをシステム同報リストに追加します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Managing System Distribution List Members](#)」を参照してください。

38. パブリッシャ サーバで、タスク 30.b. で策定した通話管理計画を実装し、テストします。
- コールハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - ディレクトリハンドラの設定を行います。『*System Administration Guide*』の「[Managing Directory Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - インタビューハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Interview Handlers in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - コールルーティングを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Routing Tables in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 6 部：機能用のシステムの設定

Cisco Unity Connection システムで実行した第 6 部のタスクについて、パブリッシャ サーバで情報や設定を入力します。

ほとんどのタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/administration/guide/9xcucsagx.html)
- 『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection Release 8.5 and Later*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/unified_messaging/guide/85xcucumgx.html)
- 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_mac/guide/9xcucmacx.html)

39. ユーザが IMAP 電子メールクライアントを使用して、Connection メッセージにアクセスまたは送信する場合：IMAP クライアントから Connection サーバへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
40. ユーザが Connection Web ツールにアクセスできるか、または IMAP 電子メールクライアントを使用して Connection メッセージにアクセスまたは送信する場合：タスク 39. の一部として設定済みでない場合は、Connection への Cisco PCA および IMAP アクセスのセキュリティを確保します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring SSL in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Securing Cisco PCA and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection](#)」の項を参照してください。
41. ユニファイドメッセージング機能用にユーザを設定する場合：ユニファイドメッセージングを設定します。『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection*』の該当する章を参照してください。ユニファイドメッセージング機能には以下があります。
- テキスト/スピーチ (TTS) を使用した Exchange の電子メールへのアクセス
 - Exchange の予定表および連絡先へのアクセス
 - Connection メールボックスと Exchange メールボックスの同期 (単一のインボックス)
 - MeetingPlace 会議のアナウンス
 - MeetingPlace スケジュール設定および参加設定

SpeechView ユニファイドメッセージングのもう 1 つのコンポーネントである SpeechView トランスクリプションについては、後出のタスクで説明します。

42. ユーザが予定表情報または Exchange 連絡先にアクセスできる場合：連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating Calendar Integrations with Cisco Unity Connection 8.0](#)」の章を参照してください。
43. テキスト/スピーチを使用して Exchange の電子メール メッセージにアクセスする場合：Exchange へのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Text-to-Speech Access to Exchange Emails in Cisco Unity Connection 8.0](#)」の章を参照してください。
44. ユーザが SpeechView ボイス メッセージ トランスクリプション機能にアクセスできる場合：トランスクリプション サービスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Transcription \(SpeechView\) in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
45. ユーザが SMTP または SMS メッセージ通知デバイスを使用する場合：システムが SMTP または SMS 通知メッセージを送信できるようにします。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up SMTP and SMS \(SMPP\) Message Notifications in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
46. ユーザが Cisco Unified クライアント アプリケーションを使用して Connection ボイス メッセージにアクセスできる場合：次の該当するクライアントを設定します。
 - Cisco Unified Personal Communicator の場合は、『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「Access to Voice Messages from the Cisco Unified Personal Communicator」の項を参照してください。
 - Cisco Unified Mobile Communicator の場合は、『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Unified Mobility Advantage Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
 - Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime の場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime*』（http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html）を参照してください。
47. ユーザがファクスにアクセスできる場合：Cisco Fax Server との連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Fax Server Integration with Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
48. 管理者またはユーザが Cisco Unity Connection Broadcast Message Administrator にアクセスできる場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Broadcast Messaging in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
49. 管理者またはユーザが Cisco Unity Greetings Administrator にアクセスして、電話によるグリーティングを管理する必要がある場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「Setting Up the Cisco Unity Greetings Administrator」の項を参照してください。
50. まだ提供していない追加の機能がある場合は、必要に応じて個々のユーザ アカウントの設定をカスタマイズします。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

第 7 部：ネットワーキングの設定

51. パブリッシャ サーバにネットワーキングを適宜設定します。複数の Connection クラスタに接続している場合は、すべてのパブリッシャ サーバにネットワーキングを設定します。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「Overview of Networking Concepts in Cisco Unity Connection 9.x」の章を参照してください。

第 8 部 : ユーザ ワークステーションの設定

第 8 部のほとんどのタスクは、注記がある場合を除き、『*User Workstation Setup Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/user_setup/guide/9xcucuwsx.html) の各章を参照しています。

52. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「[Setting Up Access to the Cisco Personal Communications Assistant in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
53. Media Master の再生デバイスと録音デバイスを設定します。「[Setting Up Playback and Recording Devices for the Media Master in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。
54. ViewMail for Outlook を設定します。該当するマニュアルを参照してください。
 - Cisco ViewMail for Microsoft Outlook 8.5 以降の場合は、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html にある、該当する『*Release Notes for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』を参照してください。
 - Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook 8.0 の場合は、『*User Workstation Setup Guide*』の「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 8.x Voice Messages](#)」の章の「Setting Up ViewMail for Outlook in Cisco Unity Connection 8.x」を参照してください。
55. Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes を設定します。http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes*』を参照してください。
56. HTML ベースの電子メール通知でイメージを表示するよう電子メールクライアントを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for HTML-based Message Notification](#)」を参照してください。
57. Cisco Unity Connection Mini Web Inbox へのアクセスを設定します。「[Configuring Cisco Unity Connection 9.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox](#)」を参照してください。
58. Connection ボイス メッセージにアクセスするために IMAP 電子メール アカウントを設定します。「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 9.x Voice Messages](#)」の章を参照してください。
59. ユーザが使用可能になっている Connection 機能にアクセスできるとともに使用できることを確認します。

第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ

60. パブリッシュ サーバでバックアップを実行します。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/drs_administration/guide/9xcucdrsag.html) を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップ アプリケーションはサポートされていません。

第 10 部：トレーニング

61. Cisco Unity Connection システムを使用できるように、ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者をトレーニングします。『*User Workstation User Setup Guide*』の「[User Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」および「[Operator and Support Desk Orientation in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章を参照してください。

■ Connection クラスタを設定した Cisco Unity Connection 9.x システムをインストールするためのタスク リスト